



山中みさお県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

千葉市若葉区特集

県議3期目で、議会内の中堅として地歩を固める千葉市若葉区選出の山中操（やまなか みさお）県議は、12月定例議会の一般質問に登壇し、自動車税の納付手続きの簡素化など、市民目線から県行政に対しさまざまな提言・要望を行いました。この中で、コンビニでの自動車税の納付が進み、納期内収納率の割合はこの10年足らずの間で10%以上向上したとの山中県議の指摘に対し、県はコンビニでの納税率がすでに銀行などの金融機関での納税率を上回っていることを明らかにしました。

また、中小企業の活力アップに力を入れる山中県議は、信用保証協会の融資枠の拡大など、中小企業の資金需要に対する積極的な支援を強く要望しました。その他の身近な問題と合わせ、山中県議の質疑を特集しました。



壇上から市民の声を代弁する山中県議

12月県議会一般質問に登壇

納税しやすい環境整備を提言！

自動車税のコンビニ収納は49%

山中議員 税で大事なことは、まず納税者にとって納税しやすい環境を整備することではないでしょうか。私は、これまでも本会議で繰り返し訴えてきました。

本県では、平成17年度からコンビニ収納を開始し、24時間いつでも支払いができる利便性が受け入れられ、この約10年弱の間に納期内納付率は10%以上向上し、税額ベースで50億円以上増える結果になりました。

この成果をみて、自動車税の納付率を上げていくためには、

コンビニ収納以外の納付方法を新たに開拓する必要があると思っています。この思いに込めてくれたのが、インターネットを利用したクレジットカードによる税金の納付です。

平成26年度から自動車税に導入したインターネットを利用したクレジットカード収納は、自動車税の納付率等どのような効果をもたらしたのか。

森田知事 平成26年度の定期課税で導入したクレジット

ジットカード徴収については、件数にして約4万5千件、税額にして約18億4千万円の納付実績があり、自動車税の納期内納付率は74.1%と、昨年度に比べ0.5ポイント上昇したところです。

県としては、自宅から24時間いつでも納付できるクレジットカード収納の導入により、納税者にとって納付方法の選択肢が増え、そのことが納期内納付率上昇の一助になったものと考えているところです。

利便性受け入れられ

山中議員 自動車税の定期課税に係る納期内納付について、コンビニ収納、クレジットカード収納、銀行等の窓口での支払い、それぞれの利用状況はどうか。

総務部長 税額ベースで最も多かったのはコンビニ収納で、全体の49%を占め、以下、銀行等での支払いが

車検時の納税証明不要に

山中議員 せっかく今年度から導入したクレジットカード収納の利便性を最大限に発揮させるために、電子システムを用いて自動車税の納付確認を行う手法が

進められていると聞きました。このシステムを用いれば、車検用の納税証明書を取り寄せる必要がなくなり、問題を一気に解決することができ、まさに画期的なシス

●県政や若葉区のご意見・ご相談をお気軽にお寄せください

山中みさお 県事務所

〒264-0024 千葉市若葉区高品町1585-21 TEL.043-234-5252

FAX.043-233-7411

ホームページ＝<http://www.yamanakamisao.jp>

E・メール＝info@yamanakamisao.jp

テムだと思います。車検で使用する自動車税の納税証明について、自動車税の納付確認の電子化は、どうなっているのか。

森田知事 自動車税の納付確認の電子化とは、自動車税の納付の有無を納税情報として電子化し、それを端末で確認するというシステムであり、平成27年4月に稼働する予定になっています。

このシステムにより、納税証明書がなくても運輸支局で納付の確認ができるようになることから、県としては、車検時におけるユーザーの利便性が向上するとともに、クレジットカード納付がより利用しやすくなると期待しているところで

中小企業への金融支援を要請!

起業・創業を資金面で後押し

山中議員 県が11月に策定した「第3次ちば中小企業元気戦略」では、起業・創業の促進を大きな柱として掲げていますが、創業者が事業の実績もない中で、資金調達しようとすると、民間金融機関では資金リスクが高く、単独で扱うのは困難だと聞いています。

そこで、起業・創業を資金面で後押ししていくためには、公的な機関である信用保証協会が大きな役割を担うべきだと考えます。中小企業金融円滑化法の終了以降の信用保証協会の保証状況はどうか。

商工労働部長 信用保証協会では、円滑化法の終了に合わせ、中小企業の経営改善を支援する専門部署として「経営サポートチーム」を設置し、専門家の派遣や経営改善計画の策定支援などを通じて、引き続き金融の円滑化に努めているところです。

このようなきめ細かなサポートにより、平成25年度における保証承諾額は、円滑化法終了前の平成24年度の実績を2・5ポイント

上回り、また、本年度においても10月末までの実績で、前年同期比を4・5ポイント上回って推移しています。



議場の自席から再質問に立つ山中県議

保証枠拡大を要望

山中議員 事業の拡大や多角化などに取り組もうとする中小企業の資金需要に対しては、保証枠を拡大すべきではないか。

商工労働部長 信用保証協会の保証枠は、原則として無担保で8千万円、有担保で2億円となっており、一

般的なニーズには応えていないと考えています。

また、県の承認する経営革新計画に基づいて、事業の拡大などを行う場合には、さらに保証料が平均よりも低く、かつ、同額の保証枠を利用することが可能になっているので、こちらでもPRしていきたい

要望 無担保で8千万円ということは、中小企業にとっては非常に重要な資金源だと思います。やはり、経営はヒト・モノ・カネですから十分にベンチャー企業が創設できるような環境を千葉県で作るべきです。そして、98%が中小企業ですので、中小企業をなお一層で支援いただくことをお願い申し上げます。

拒食症への取り組み

山中議員 拒食症の人たちの支援活動をしている方から「拒食症のお子さんをお持ちのご家族は、対応に苦慮している」という話を聞いています。そのため、行政の適切な支援が必要だと思っています。拒食症について、県としてどのように考え、対処しているのか。

健康福祉部長 拒食症は、主に10代から20代の女性

に多く、その年代に特有の心理的ストレスに対処できないことを契機に、過度な「やせ」を来す疾患です。拒食症になると、低血糖、低血糖、腎不全、不整脈や骨粗しょう症などの症状が発症するおそれがあることから、早期に適切な治療が重要

要望 だと考えています。県では精神保健センター等で相談に応じてるとともに、必要に応じて医療機関を紹介しています。ぜひ、県としてもこの拒食症の問題に着目していただき、今後、より一層の取り組みを図っていただくよう要望します。

自転車事故の対策

山中議員 自転車事故を防止するための取り組み状況はどうか。

警察本部長 本年10月末現在の自転車関係する交通事故の発生件数は、3735件、自転車乗車中の死者数は16人で、負傷者数と合わせて、いずれも減少しています。事故の特徴としては、時間帯では昼間の発生が約8割で、そのうち約2割が7時台から8時台の通勤・通学

時間帯です。事故類型では、交差点における出会い頭事故が約4割を占めています。警察では、関係機関・団体と連携し、自転車利用者に対し、各年齢層に応じた安全教育や県警のホームページ、各種イベント等の機会をとらえた広報啓発による交通ルールやマナーの周知を図るとともに、指導取締りの強化に努めているところです。

犬猫の多頭飼育

山中議員 犬猫の多頭飼育の問題について、どのように取り組んでいくのか。

保健医療担当部長 多数の犬猫を飼うことにより、近隣住民の生活環境を悪化させたり、十分な世話ができないため、犬猫が衰弱す

るなどの事例が発生しています。

県では、このような問題を未然に防止する観点から、条例では犬猫合計10頭以上飼育している飼主は、届け出を義務付け

ることとしています。県としては、この届出義務について周知を図るとともに、届け出に基づき、現地調査を行い、近隣住民の生活環境が損なわれることのないよう、飼主に対し具体的な助言や指導を行ってまいります。

保健医療担当部長 個体識別番号が記録されたマイクロチップを犬や猫に装着していくことは、監察・名札が脱落した場合や、災害時ではぐれた場合でも、飼主を特定することができると考えられています。

これまでもマイクロチップの装着は普及促進しており、平成25年度末には約6万頭に装着されています。今後さらに啓発を図り、平成35年度までに20万頭に装着させることを目標に取り組んでまいります。

市民の声を県政へ



傍聴席を埋めた支援者の皆さん